

# 地域で"暮らす""働く"を楽しくする ~「関わりたい地域」のヒントを探る~

地元の人が留まる・戻ってくる、外から人が訪れる・移住するような、「関わりたい地域」ってなんだろう？

- ・その地域で生まれ育った地元の人
- ・地域おこし協力隊など仕事として関わる人
- ・なんのしがらみもない移住者

にとって、どうしてその地域に「関わりたい」と思ったの？  
どうだったから「関わりやすかった」の？を地元×移住者  
で取り組んでいる2地域をお呼びし振り下げます！  
地域に「関わりたい！」が増えるヒントが見つかるかも！

**2026.02.28 土 13:30-15:30**

at 宮津市 福祉・教育総合プラザ  
第4コミュニティルーム  
(宮津シーサイドマートミップル4階)  
宮津市浜町 3012 番地

京丹後市久美浜町

## 佐濃地区

佐濃地区は2016年

「これからも住み続けたい地域」を  
コンセプトに佐濃自治会を発足。

2022年から移住の取り組みを進め、  
毎年15人余が佐濃へ移住。

現在、水曜カフェ、こ恋ろ広場  
など世代を超えた人々の交流  
事業も盛んに行っています。

佐濃地区出身

### 森本賢一郎

高校卒業後「地元には戻らない！」と  
大学進学。民間企業に就職後、教員に  
転職。40年前家族でUターン。

地元小・中学校に勤務。退職後自治会長を6年務め、  
現在移住の取組に加え、水曜カフェを運営、地元を  
元気にしている。

地域おこし協力隊卒業

### 羽尻晶

兵庫県豊岡市出身。神戸市で栄養士やコー  
ヒーショップ店員として働いた後、2022年に  
地域おこし協力隊として久美浜町佐濃地区へ  
移住。移住促進をミッションに空き家調査や  
移住ツアー、情報発信、喫茶の運営など  
に携わる。

1ターン

### 藤井千恵

京都市出身。2024年10月夫婦で移住。  
久美浜の食材、環境、人に一目惚れし、1週間で移  
住を決意し実行。まちまち案内所、佐濃自治会に  
関わりながら、米づくりに挑戦中。地元の人・文化へのリスペクトが止まらない！

【定員】30名程度

【参加費】無料

【申込方法】2月27日(金)17時締切

QRコードにてお申し込みください

(当日参加も可ですが人数把握のため、ご協力よろしくお願いします)



主催：京都府丹後広域振興局・中丹広域振興局 / 企画：一般社団法人丹後暮らし探求舎

問い合わせ先：京都府丹後広域振興局 企画・連携推進課 0772-62-4300 t-c-kikaku@pref.kyoto.lg.jp

福知山市大江町

## 毛原地区

鬼伝説で有名な大江山の山間、「日本の  
棚田百選」の棚田がある小さな集落。

1997年から「棚田農業体験ツアー」を、  
1998年からは全国でも先駆けとなった

「棚田オーナー制度」をスタートさせるなど、  
都市・農村交流に積極的に取り組んでいます。

大江町出身

### 櫻井一好

京の田舎ぐらしナビゲーター。棚田オーナー制度や  
棚田ワンダービレッジプロジェクトをはじめ、各種体験  
会を実施。現在、縁側喫茶の開店、毛原放送局から魅力的な  
地域を発信し関係人口増加に取り組む。セルフビルドの  
ログハウス「ゲストハウスサライ」も開業。

地域おこし協力隊

### 岩尾美咲

横浜市出身。2024年11月から地域おこし協  
力隊に着任。大江町河守上地域のチームみすず  
で、「地域活動の仲間づくり」のミッションのもと  
リヤカースタンド「柊結車」にてイベント出店を行う。  
今年店舗として生活雑貨と喫茶店「柊結舎」オープン  
予定。

ファシリテーター 坂田 真慶 / 丹後暮らし探求舎

2017年に京丹後市に移住。自分や周りの人が楽しく暮らせる  
ように、地域・企業・行政の相談に乗ったり、伴走支援をし  
ている。喫茶店と公民館の間くらいの「まちまち案内所」の  
運営もしている。趣味はまち歩きと読書。